

2024年6月28日

# 5月の完成車メーカー生産・販売台数

～生産・販売ともに前年を下回る、販売は4カ月連続の前年割れ～

## 要旨・投資のポイント

アナリスト

高田 悟

### レポートで言及する主な企業

日産自動車	(7201)
トヨタ自動車	(7203)
三菱自動車	(7211)
マツダ	(7261)
ホンダ	(7267)
スズキ	(7269)
SUBARU	(7270)

- 6月27日に国内乗用車メーカー8社（上場7社及びダイハツ工業）のグローバル生産台数、販売台数の5月速報が出揃ったので報告する。なお、詳細は次ページ表の通りである。
- 5月の8社合計のグローバル生産台数は2,011千台（前年同月比1.8%減）となった。海外生産が前年割れとなり、トヨタ自動車（7203、以下トヨタ）の生産台数が4カ月連続で前年割れとなったこと、ホンダ（7267）の生産が北米堅調も中国悪化から前年割れとなったことなどが響き全体で2カ月振りの前年割れとなった。
- 日産自動車（7201、以下日産）は国内が減少もメキシコ、中国での増加により前年並みの生産を維持した。マツダ（7261）の生産は海外でのSUVの生産増が牽引し前年を大幅に上回った。スズキ（7269）の生産はインドの生産が5月として過去最高となったことなどにより前年を上回った。
- 一方、5月の8社合計のグローバル販売台数は1,976千台（前年同月比0.8%減）となった。日産、マツダ、ホンダ、ダイハツ工業の4社の販売が前年を下回り、トヨタの販売が海外販売好調（5月は該当月として過去最高）から4カ月振りの前年超えとなったとはいえ微増にとどまったことなどから全体では4カ月連続で前年を下回った。なお、SUBARU（7270）の販売は主要米国販売堅調から前月に続き前年を上回っている。
- 昨年末までのコロナ禍の終息と部品不足緩和に伴う生産・販売の回復局面が概ね一巡し、足元では会社ごとにばらつきがでてきている。5月は先月に続き、国内での軽自動車販売とインド販売が堅調なスズキの生産・販売の好調ぶりが目立っている。
- ここ数カ月、生産・販売ともに伸び悩む中で今月初めに複数社の認証不正問題が発覚した。6月はこの影響が注目されるとともに懸念される。

## 【生産台数】

(単位:台)

	2024年4月		2024年5月		累計(4-5月)	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
日産自動車	264,308	10.1%	274,962	0.1%	535,055	2.7%
トヨタ自動車	756,254	-4.0%	812,191	-4.1%	1,568,445	-4.1%
三菱自動車	64,668	0.3%	73,927	-2.6%	138,595	-1.2%
マツダ	102,399	-0.8%	95,150	16.6%	197,549	6.9%
ホンダ	316,679	15.7%	304,423	-7.5%	621,102	3.0%
スズキ	274,141	15.4%	294,386	8.3%	568,527	11.6%
SUBARU	74,699	-6.4%	79,580	-1.0%	154,279	-3.7%
ダイハツ工業	46,930	-51.0%	76,067	-13.5%	122,997	-33.0%
合計	1,900,078	0.9%	2,010,686	-1.8%	3,906,549	-0.8%

注:前年比は前年同月、前年同期(累計)からの伸び率

出所:各社ニュースリリース等からTIW作成

## 【販売台数】

(単位:台)

	2024年4月		2024年5月		累計(4-5月)	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
日産自動車	243,291	-5.7%	272,405	-0.8%	503,937	-1.7%
トヨタ自動車	797,097	-0.5%	840,681	0.3%	1,637,778	-0.1%
三菱自動車	59,433	-5.1%	64,262	1.7%	123,695	-1.7%
マツダ	94,976	1.4%	105,141	-0.8%	200,117	0.2%
ホンダ	303,000	-1.8%	311,000	-4.5%	614,000	-3.2%
スズキ	259,007	9.9%	264,775	6.2%	523,782	8.0%
SUBARU	76,536	7.9%	79,752	4.9%	156,288	6.3%
ダイハツ工業	30,078	-54.4%	38,068	-34.0%	68,146	-44.9%
合計	1,863,418	-1.7%	1,976,084	-0.8%	3,827,743	-1.0%

注:前年比は前年同月、前年同期(累計)からの伸び率

出所:各社ニュースリリース等からTIW作成

**高田悟（たかだ さとる）プロフィール**

立教大学社会学部卒。生命保険会社、米系投資銀行を経て2007年12月より現職。外国債券投資をベースに生保海外現法にて欧州株式市場の調査を担当、そして融資審査業務と15年超の資産運用経験を持つ。アナリストとして自動車、自動車部品を担当。銘柄選択は「企業の存在意義とそのバリュー」を最も重視する。（社）日本証券アナリスト協会検定会員

**アナリストによる宣言**

私、高田悟は本調査レポートに表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。また私は過去・現在・未来において、本レポートで特定の推奨を行うことに対して直接または間接に報酬を受けていないことを証明します。

**利益相反に関する開示事項**

TIWは、契約に基づき、アナリスト・レポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。

レポート対象企業の選定はTIWが独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。担当アナリスト並びにTIWと本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

本レポートに掲載された情報・意見は、信頼にたると判断した情報源に基づき作成したものでありますが、完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行って下さい。注意事項の詳細については最終ページをご参照ください。

本レポートについて

1) 本レポートは、情報提供を目的としてのみ作成されたものであり、有価証券売買の勧誘を目的としたものではありません。有価証券その他の取引等に関する最終決定は投資家様ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

2) 本レポートは、「TIW」が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、これらの情報の正確性と、完全性、適時性を保証するものではありません。情報が不完全または要約されている場合もあります。本レポートに記載された価格、数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合があります。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート作成時における「TIW」の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

3) 本レポートは将来の結果を約束するものではなく、また、本レポートにある情報はいかなる目的で使用される場合においても、投資家様ご自身の判断と責任において使用されるものです。本レポートにおいて提供されるいかなる情報もしくは分析に、投資家様が依拠した結果として被る可能性のある直接的、間接的、その他の損害に関して、「TIW」または「TIW」にデータや情報を提供している提供者が責任を負うものではありません。

4) 本レポートに掲載された内容の著作権は、「TIW」または「TIW」にデータや情報を提供している提供者に帰属します。事前の承諾を得ずに、本レポートのすべてまたは一部を複製、販売、表示、配布、公表、修正、翻訳、頒布または営利目的での利用を行うことはできません。

「TIW」レポートは、株式会社アイフィスジャパンが発行しています。

株式会社アイフィスジャパン

東京都港区六本木 1-8-7 MFPR 六本木麻布台ビル 9 階

URL <https://www.ifis.co.jp/>